

「2018 秋の名張川花火大会」 開催要領

(名 称) 2018 秋の名張川花火大会

(開催に至る経緯)

7月28日に開催を予定していた2018名張川納涼花火大会は、台風12号の直撃を受け、たため安全な環境下での開催が困難となり中止いたしました。実行委員会では、この大会にはこれまでたくさんの皆さまにご支援とご協賛をいただけてきたことから、この秋にもう一度機会をいただき、これにお応えする使命感をもって「秋の名張川花火大会」と呼び名を変えて、夏の「リベンジ花火」を打ち上げます。

そして、今年で76回目となる歴史ある大会を途絶えることなく継続させます。

(趣 旨)

名張川納涼花火大会は、名張の歴史や伝統、慣習、文化そのものをもち備えているものとして市民に親しまれ、近郷の方々にもその楽しみをお分けしてまいりました。大会は、市民自らが大会開催の支援に加わり誰もが楽しめる名張市最大の集客イベントです。これからも市域全体で盛り上げ、このまちの活性化につなげてまいります。

(テーマ) 天高く「晩秋リベンジ花火」

～ なばりの花火の歴史をつなぐ ～

(この大会の特色)

この夏には約5000発の花火を予定していましたが、しかし「台風襲来」というこれまでにない形で中止となりましたことから、花火玉の準備、解体費用に加え、既に準備を始めていた安全対策関連の作業や事前告知情報の露出などもあり、この大会の運営経費は縮小せざるを得ません。

このため打上げ花火の予算規模は、当初より30%程度減少します。またこれとともに打上げ時間も当然短縮となります。

しかし、皆さまのご期待に添えるよう納涼花火のコンセプトである「高く！ 開いてこそ花火！」を意識したプログラム構成で、短い時間内でも見ごたえのある時間をお過ごしいただけるよう組み立ててまいります。

晩秋からの花火は、澄んだ空気の中で行われることから大変きれいに映えわたります。開く瞬間には星が迫ってくるように見えるのも特徴です。なんとしても開催したかった花火職人と実行委員会のあつい思いを大空に描きます。ご期待ください。

なお、川風が少し肌にしみるころとなりますので、温かくしてご観覧ください。

(開催日) 2018年11月24日(土) 荒天時は25日(日)に順延
以降の荒天や水位上昇時には開催は中止とします。

(主 催) 名張川納涼花火大会実行委員会

参加団体：名張市、名張市地域づくり代表者会議、名張地区まちづくり推進協議会、
名張商工会議所、(一社)名張市観光協会、名張川漁業協同組合、
名張市生活安全推進協議会防犯部会、同 交通安全部会

(協 力)

伊賀南部一般廃棄物処理協同組合、名張市土木協力会、名張商工会議所青年部、同女性会、(公社)名張青年会議所、名張ライオンズクラブ、名張ロータリークラブ、名張中央ロータリークラブ、名張ローターアクトクラブ、名張市消防団 他

(後援予定)

株式会社アドバンスコープ、三重エフエム放送株式会社、三重テレビ放送株式会社、近畿日本鉄道株式会社、三重交通株式会社 他

(内 容) 秋の名張川花火大会

日 時 : 2018年11月24日(土)

午後7時00分 ~ 7時40分頃まで(予定)

会 場 : 名張川新町河畔及び黒田地区内

内 容 : 3ヶ所一斉打ちやワイドスターメインなど 約2,500~3,000発

警 備 : 会場周辺での見物客を2万人と想定。警察、市、警備会社などと調整を図りつつ周到な警備計画を策定し、安全を第一に万全の体制で臨みます。

観覧席 : 新町河畔に協賛者招待席と有料の観客席を設けます。これらは中止になった夏の大会のチケットをそのままご利用いただけるように設置します。

中止になった夏の大会の有料の観覧席チケットがいない方は、払戻しをいたします(別添「観覧チケットの払戻しについて」参照)。

協賛者招待席のチケットは、払戻しできません。

払戻しされた有料観覧席のチケットは、後日発売期間を決め観光協会事務局で再度販売させていただきます。

開催決定 : 当日の開催決定に際しては、開催判断基準を策定し臨みます。

中止時の協賛金の扱い : 秋の大会が中止になった場合、既にいただいた協賛金は、来年の納涼花火大会の財源として使用させていただきますことをご了承ください。

(清掃ボランティア事業)

花火大会翌日早朝は、会場周辺の清掃、ゴミ収集、分別作業を新町区、本町区、黒田区、瀬古口区のほか、協力団体やボランティアの皆さんの参加協力により行います。